

# トレード手法



# 有効なトレード手法を探す

- ① 時間軸  
(スキャルピング / デイトレード / スイングトレード / ポジショントレード)
- ② エントリ方向  
(順張り / 逆張り)
- ③ 方式  
(ファンダメンタル / テクニカル)
- ④ テクニカル分析  
(移動平均線 / ポリンジャーバンド / 一目均衡表 / MACD / RSI etc)



# テクニカル手法を大きく分けると

## ■ 一般的なテクニカル手法

- 概要 : テクニカル分析を組み合わせて、優位性のある売買手法  
判断ポイント : テクニカルなエントリー基準 / テクニカルな決済基準 / ロット数決定  
性格 : 小さな勝ちを積み重ねて利益増。勝率が高いが負けるときは、大きく負ける  
/ 勝つ時は大きく、勝率は低い

## ■ ナンピン系テクニカル手法

- 概要 : 基本的に価格変動に合わせてポジションを積み重ねて反転して利益が出たら決済  
判断ポイント : 価格に合わせたエントリー基準 / 含み益に合わせた決済基準 / ロット数決定  
性格 : 運用資産内の含み損であれば、いつか反転した時に利益確定  
/ 負けるときは、強制決済による口座資産のすべてがなくなる



# どっちがいいの？

一般的には、こちら！

## ■ 一般的なテクニカル手法

メリット : 一回の損失を限定的に出来る。

デメリット : 資産が減少し始めても、一時的な落ち込みか、手法が通用しなくなったタイミングなのかが、判断しにくい

## ■ ナンピン系テクニカル手法 ⇒ リスクが大きすぎ、いつかは必ず破綻

メリット : 資産増加が、ほぼ右肩あがり、収益率が高い

デメリット : 常時含み損を抱えた状態になる。

一回の負けが、強制決済で口座の99%の資産がなくなる

**Kenが資産運用に実際に使っているのは、こっち（ナンピン系）**



# なぜ、ナンピン系

- ① 一般的手法のEAで、常時パフォーマンスが良いものはない  
⇒かならず、使えなくなる時期が来る
- ② 運用しているEAが使えなくなる時期を判断できなかった。
- ③ 運用資産を複数の一般的手法のEAに分散したが資産増にならない  
⇒優位性が長期で続くEAを複数見つけられなかった。
- ④ ナンピン系のデメリットを無くしての方が良いと思った。  
⇒負けた時に損失の限定にさせる。（資産管理／カウンタエントリ）  
⇒収益率が良いことから、負けを短期間で取り返せる。  
もしくは、リスクを低くして負けをほぼ無くし、小さく稼ぎ続ける。

